



まつかわくしゅう まつかわくしゅう
松川学習センター図書室広報 ぽっと心に本の灯をともしよう!



まつぽっと



としよしつおすすめの本

えほん

『きんたろうようちえん』(E ヤギタ)

やぎ たみこ/作 あかね書房



やまのうえにあるきんたろうようちえんは、きんたろうせんせいとやま
んばせんせいのほかはどうぶつがせんせいです。あるひ、いわのみずのみ
ばのみずがでなくなりました。きんたろうせんせいがしらべてみると、へ
んなこえがきこえてきて…。

よみもの

『人魚の夏』(Y 9 1 3 カナリ)

嘉成 晴香/作 まめふく/絵 あかね書房



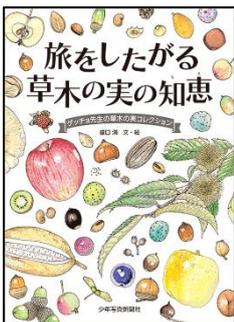
小谷知里のクラスにやってきたのは、転校生の海野夏。自己紹介では
性別を明かさず、神秘的な雰囲気のある夏はすぐにクラスの人気者になる。
知里は母の友人の春さんから、夏が転校してきたら友達になってほしいと
言われていた。掃除の時間に中庭で二人きりになったとき、知里は夏から
ある秘密を打ち明けられる。

そのた

『旅をしたがる草木の実の知恵』

ゲッチョ先生の草木の実コレクション』(B 4 7 モリグ)

盛口 満/文・絵 少年写真新聞社



おいしい実をつけて食べられることでファンといっしょにまいてもらう。
ベタベタやトゲトゲで体にひっつく。自ら動けない草や木は、タネを
遠くに運んでもらうために色んな知恵を使っています。その知恵の数々
を生きもの博士・ゲッチョ先生のイラストを通して学んでいきましょう。



としよしつのおすすめほん



おはなしロケット 〔9月のテーマ:ダメ!〕



『おうちにいれちゃだめ!』

(Eエルコ) ケヴィン・ルイス/作
ディヴィッド・エルコリーニ/絵
長友 恵子/訳 フレーベル館

リビングストーンは、たんけんをするのが
だいすきな男の子。ある日、リビングス
トンがおうちにムシをもってかえると、ママ
はこういきました。「おうちにムシをいれち
ゃだめ!」というわけで、ムシをあきらめ、
ネズミをつかまえました…。

『りょうりをしてはいけないなべ』

(Eシゲタ)
シゲタ サヤカ/作・絵
講談社

コックさんがあたらしいなべでりょうり
をしていると、とつぜんなべがわらいだ
しました! なべのくちからなかみがふきだ
し、つくったりょうりはだいなしです。お
こったりょうりちょうは、このなべでり
ょうりをつくらせないようにします。



おひぎにだっこの

おはなしかい



『おつきみおばけ』

(Eセナケ) せな けいこ/作・絵
ポプラ社

おつきみのよる、おばけちゃんはママが
いないとないているうさぎちゃんにあいま
した。おつきみのじゅんびをしながらママ
をまっていたましたが、おだんごがありませ
ん。そこでおばけちゃんはおだんごにばけ
ますが…。

『とりかえっことりかえっこ』

(Eフクダ) ふくだ じゅんこ/文・絵
大日本図書

りんごちゃんやみかんくんたちが、じぶ
んのおようふくをぬぎぬぎぬいでみんなで
とりかえっこ。でも、たぶたぶだったりぴん
ぴこでやーだやだ…ぬぎぬぎぬぎぬぎ。だ
れのおようふくととりかえっこしたのかあ
ててみよう!

としよしつイベント

冬の おはなしロケット スペシャル



こうさく
工作も
あるよ

★日にち 12月4日(土)
★時間 10時30分から
★場所 松川学習センター
★対象 4さいから小学生
★定員 15組<<先着順>>

クイズめざせ☆ としよしつマスター!! クリスマススペシャル



ぜんぶとけたら
すてきな
プレゼントが
あるよ

★日にち 12月24日(金)
~12月26日(日)
★場所 松川学習センター
図書室
★対象 小学校高学年までの
お子様

※イベントは状況により中止する場合がございます

図書室カレンダー

11月

12月

毎月24日は
ふくしま読書の日



■ は、おやすみです。
♡ は松川学習センターの
「ふくよみの日」です。

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

おひぎにだっこのおはなしかい: 11月4日(木)/12月2日(木)
おはなしロケット: 11月6日(土)/12月4日(土)スペシャル

季節のことは
これって、
なに？

ちようよう せっく

重陽の節句



昔の中国では月と日が同じ奇数の時に邪気を払う行事を行いました。9月9日は「重陽」とい
い、菊の花を浮かべた菊酒を飲んで長寿を願いました。菊の節句ともいいます。この行事は日本の
宮中にも取り入れられ、菊の花は不老長寿の力がある高貴な花として尊ばれました。菊の花を楽
しむ行事は今も各地で行われています。毎年10月ごろに全国各地で開かれる「菊人形展」は、
江戸時代に始まりました。植木職人が菊の花で作った人形をお寺で参拝客に見せたことが始まり
で、東京浅草の「菊供養会」や、福島県二本松市の「二本松の菊人形」などが有名です。

※節句…季節の変わり目のお祝いをする日のこと。一年に5日間あり、五節句という。

参考にした本 / 『和の行事えほん2 秋と冬の巻』(B38タカノ) 高野 紀子 / 作 あすなる書房
『節句のおりがみ』(754ニワタ) 丹羽 兎子 / 著 誠文堂新光社

としよしつ

図書室からのおねがい

◆本をかえす日をまもりましょう。次にまっている人がいます。

◆本を大切にあげましょう。ページをやぶいたり、らくがきは
しないでください。やぶれても、セロハンテープなどでなおさず、
カウンターまでおもちください。

◆雨の日は、本がぬれないように、バックに入れてください。

はじめよう！

10ぷんどくしよ

いつでも、どこでも、だれとでも

1日ごうけい10分、本に親しもう

松川学習センター図書室広報

まつぽっと 第13号 2021年11月発行



編集発行：松川学習センター図書室

〒960-1241

福島市松川町字杉内33

TEL 567-2403